

大江山地域の 公共施設の これからを考える

取り組みをご紹介します

- 1.市の公共施設をめぐる課題
- 2.市の取り組み
- 3.大江山地域の状況とプロセス
- 4.大江山地域の公共施設の将来のあり方
- 5.意見募集



パネル展示へようこそ！
みなさんのご意見をお寄せください！

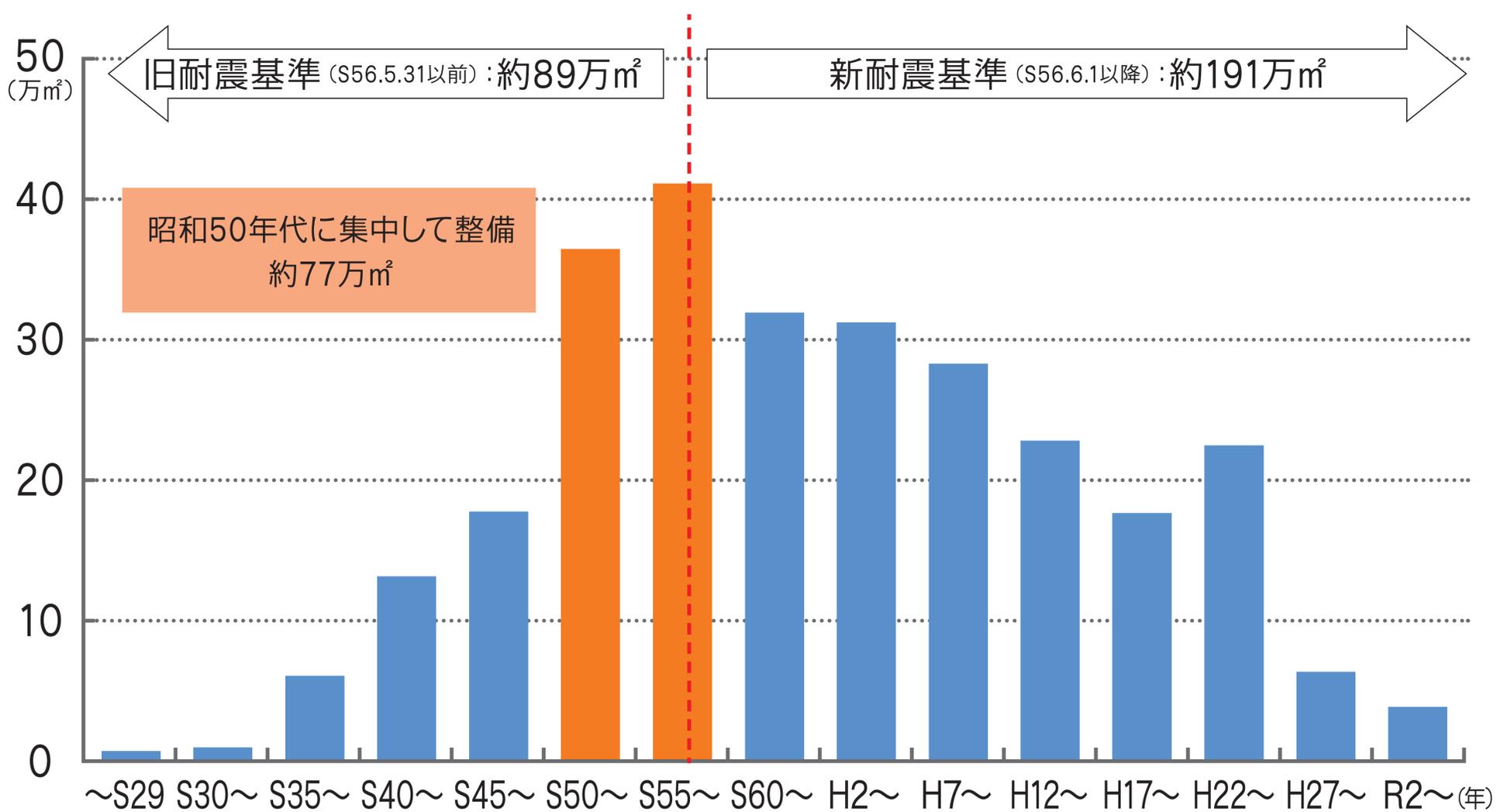
1. 市の公共施設をめぐる課題

新潟市の公共施設をめぐる状況は…①

修繕や建て替えの時期が到来! 今後も増加

現在使われている公共施設は、人口増加が著しかった昭和50年代に整備されたものが多く、老朽化による修繕や建て替えの時期が一齐に到来し、今後も増大することが見込まれます。

建築年別に見た公共施設の整備状況



「新潟市財産経営推進計画基本方針編 (令和4年3月)」7ページ
「図-7 築年別に見た公共施設の整備状況」

同じ時期に建てた建物は一齐に古くなるね。修繕や建て替えの費用もかさんでくるね…

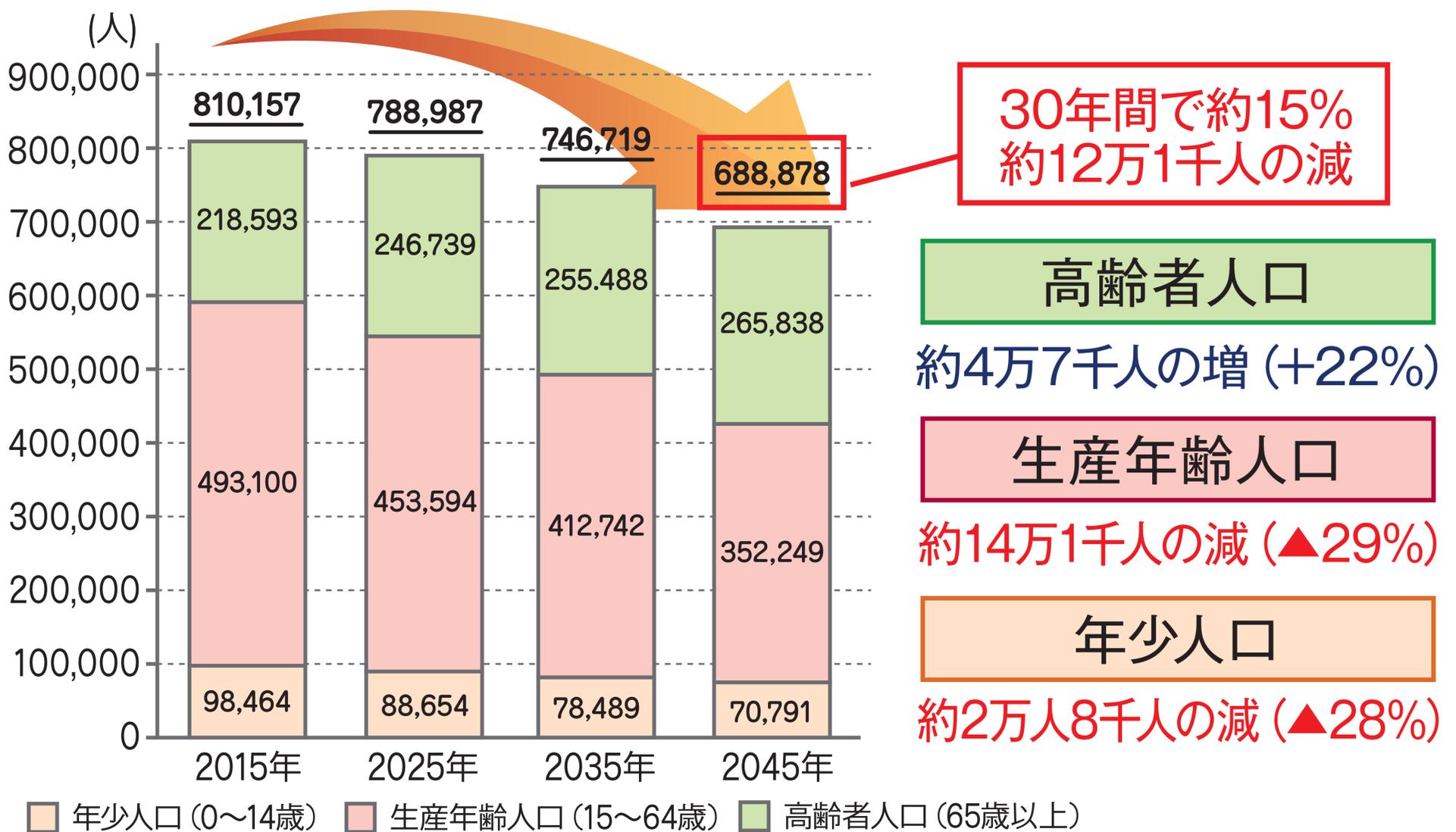


新潟市の公共施設をめぐる状況は…②

人口減少と世代構成の変化への対応

本市の人口は2005年をピークに減少に転じ、2045年には、70万人を下回る見込みです。とりわけ、勤労世代である生産年齢人口（15歳から64歳）の減少が著しいため、将来の税収増加の見込みは厳しいものとなっています。

本市の将来推計人口(総数・3区分構成)



資料「日本の地域別将来推計人口」国立社会保障・人口問題研究所(2018年3月)をもとに作成



人口が減るだけじゃなくて、
世代構成も大きく変わるから、
施設の使い方も変わってくるね…

1. 市の公共施設をめぐる課題

新潟市の公共施設を めぐる状況は…③

すべての施設を維持することは困難な状況

現在の公共施設を、長持ち（長寿命化）させても、今後、修繕や建て替えなどの費用が増加することが予想されています。

将来の税込増加の見込みが厳しいなかで、今ある施設の全てを今後とも同じように維持するのは難しい状況です。

公共施設の将来更新費用と近年平均更新費用

シナリオ	今後30年間の 必要額	年平均の 必要額	H27~R1 年平均額※
長寿命化対策の場合	6,467億円	216億円	153億円

※公共施設に係る投資的経費実績
(平成27~令和元年度平均)

「新潟市財産経営推進計画基本方針編(令和4年3月)」7ページ
「表-3 公共施設の将来更新費用と近年平均更新費用の比較」

修繕や建て替えのお金が増加したら、
ほかのサービスにも影響が…
これからどうやりくりしたら…



2. 市の取り組み

施設の効率的な使い方ってなに？

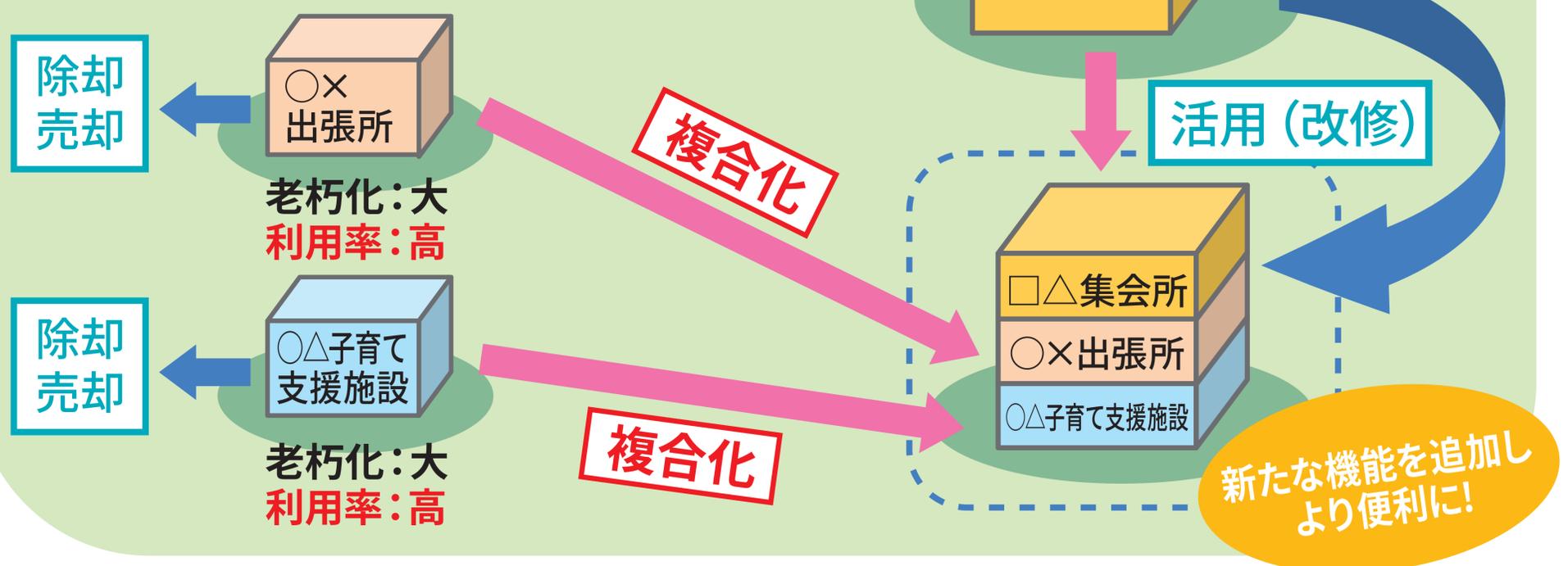
色々な方法で設備を効率的に使います

施設の種類と地域内のバランスを踏まえ、それぞれの施設のあり方を考えます。

- ①無駄をなくす工夫をして施設を使い続ける（継続・運用上の工夫）
- ②1つの施設で今よりも多くのサービスを利用できるようにする（多機能化・複合化）
- ③複数の施設を1つにまとめる（集約化）
- ④施設で利用できるサービスをより必要とされるものに変える（用途転用）

多機能化・複合化の例

利用が比較的少ない「□△集会所」の低利用スペースを活用（改修）し、利用が多く老朽化が進んでいる「○×出張所」・「○△子育て支援施設」の機能を移転させ、施設の複合化（集約化）を行う。



複合化って機能が1か所に集まるから、使いやすくなるかも。

3. 大江山地域の状況とプロセス

大江山地域の「地域別実行計画」の進め方

検討に着手したきっかけ

大江山地域では、地域の活動拠点である大江山農村環境改善センターが大規模改修の目安である築40年を超えていることなどから、大江山地域の公共施設のあり方について、地域にお住まいのみなさんと新潟市が共に考えるワークショップ（WS）を令和4年12月に開始しました。

検討の進め方

下図に示したステップに分けて検討を行い、「地域別実行計画」を策定します。ステップに合わせ、さまざまな方法で広く地域のみなさんのご意見を伺い、検討に反映します。



3. 大江山地域の状況とプロセス

大江山地域の公共施設の概況



- ・60歳以上の高齢者の健康保持と福祉増進のための施設。入浴やクラブ活動に利用
- ・指定管理者による管理運営施設
- ・老朽化に伴う修繕費増加などが課題
- ・市内老人憩の家は更新しない方針



- ・セルフ貸出で地域の人々が利用
- ・図書室にない本は、委託職員のいる時間帯に予約貸出可能
- ・1日の利用が1~2人なので今後の運営について検討が必要



- ・60歳以上の高齢者の健康保持と福祉増進のための施設。入浴やクラブ活動に利用
- ・指定管理者による管理運営施設
- ・老朽化に伴う修繕費増加などが課題
- ・市内老人憩の家は更新しない方針



※西野・蔵岡・茗荷谷・丸山集会所の公共施設のあり方については、市と各自治会で検討していきます



- ・各種教室やクラブ活動、地域活動などに利用
- ・指定管理者による管理運営施設
- ・公民館機能を併せ持つ複合施設
- ・使用料は原則無料

4.大江山地域の公共施設の将来のあり方

大江山地域の 課題解決の狙いと評価軸(案)

これまでのワークショップでの議論などをふまえて、大江山地域の「課題解決の狙い」と「評価軸(案)」をまとめました。

第4回ワークショップでは、大江山地域の課題解決の狙いとその評価軸(案)について議論されました。

この「課題解決の狙い」をもとに再配置案を作成し、再配置案の評価を行います。

課題解決の狙い	評価軸(案)
①地域のまとまりや一体感を形成する	<ul style="list-style-type: none">・ 住民同士が交流できる居場所は確保しているか・ 誰もが気軽に利用できる施設になっているか・ バリアフリー施設となっているか・ 多世代が交流できるスペースは確保されているか・ 幅広い年代が使える施設となっているか・ 身体を動かす広いスペースは確保されているか・ 大人数が集まるスペースや施設は確保されているか・ 地域の拠点施設として活性化は見込めるか
②子育ての環境、若者や高齢者の居場所をつくり、地域を活性化させる	<ul style="list-style-type: none">・ 親子が集えるスペースは確保されているか・ 多世代交流できるスペースは確保されているか・ 若者が過ごしやすい居場所や学習スペースは確保されているか
③過度な財政負担が将来世代に残らない	<ul style="list-style-type: none">・ 施設運営コストは削減されるか・ 維持更新費用は削減されるか(改修・改築費)
④既存の建物の有効利用、利用率を高める工夫、利便性向上を図る	<ul style="list-style-type: none">・ 多用途に利用できる施設になっているか・ 施設面積は削減されるか・ 施設の効率的な活用に繋がっているか・ アクセスしやすい施設配置となっているか・ 歩いて行ける場所に集まれる施設はあるか・ 十分な駐車場は確保されているか
⑤災害に強く安全な地域をつくる	<ul style="list-style-type: none">・ 安心して生活するため、災害時に避難できる施設はあるか・ 地域に備蓄倉庫は整えてあるか

大江山地域の再配置案(たたき台)

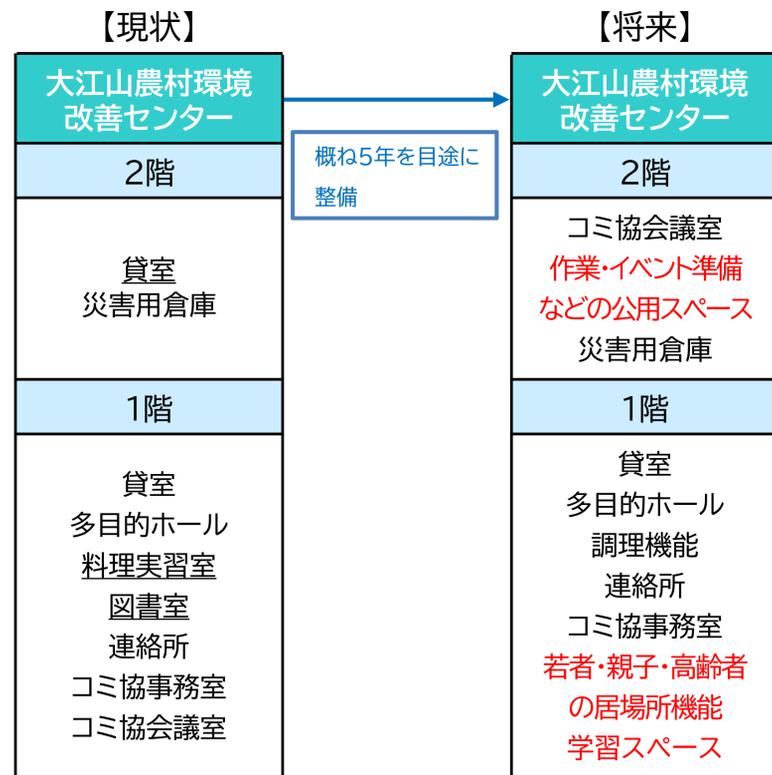
※これらの案は実現を担保するものではありません

再配置案	WS案 A	WS案 B	WS案 C
	現在の農改センターを最大限活用しながら、多世代交流を図る案	多目的ホールを有効活用しながら、利用に見合う多世代交流拠点をつくる案	農改センターを新たに建て替え、多世代交流拠点をつくる案
施設配置図			
農改センター	◎現状の施設規模のまま存続	◎多目的ホールを残しながら、利用に見合う規模で整備	◎地域の要望に配慮しながら、他の地域のコミュニティ系施設の規模に合わせて建て替え
整備方法	・現状の施設規模のまま大規模改修	・多目的ホール:大規模改修 その他:大規模改修または建て替え ・施設規模を現状の約2/3程度※に整備 ※【施設規模イメージ】貸室2部屋程度(現在の農改センターの大研修室・小研修室各1部屋程度)と以下の機能を加えて整備	・施設規模は半分以下程度※とし、現施設を取り壊し建て替え ※【施設規模イメージ】貸室3~4部屋程度(現在の農改センターの大研修室・小研修室各1~2部屋程度)と以下の機能を加えた整備
多目的ホール	・現状の施設規模のまま大規模改修		・廃止(現施設の多目的ホールは取り壊すが、建て替え後、施設の部屋を繋げるなど、広いスペースとしての利用は可能)
バリアフリー	・全ての貸室を1階に集約、トイレの整備、檀家解消など	・トイレの整備、段差解消などのほか、必要に応じてエレベーターを設置	・バリアフリーに配慮して整備するほか、必要に応じてエレベーターを設置
調理機能	・利用率の低い料理実習室は、多用途に使える貸室へ転用(非常時やイベントなどで活用できるよう調理機能を一部存続)	・非常時やイベントなどで活用できるよう、調理機能を整備	
図書室	・図書室を廃止し、予約本受取サービスを連絡所で存続 ・学習スペースの整備		
多世代交流	・親子や高齢者など、予約不要で誰でもくつろげるスペースの整備		
災害対策機能	・災害用倉庫の設置		
外構	・駐車場などの外構の整備		
連絡所	・存続		
コミ協事務室	・存続		
老人憩の家	○老人憩の家は風呂機能の設備改修が困難になるまで存続(農改センターが整備されるまでは、風呂機能が廃止されても、部屋の貸出を継続) ・老人憩の家廃止後、農改センターなどを活用(農改センター:誰でもくつろげるスペースを整備、バリアフリーに配慮)		
ひまわりクラブ	○存続(現状の施設のほかに、小学校の特別教室などを開放し、できるだけ広いスペースを確保)		
小中学校	○存続(学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、「新潟市小中学校の適正配置基本方針」に基づき、必要に応じて別途検討)		
検討ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 農改センターの施設規模を生かしながら、新たな機能を追加 農改センターの効率的な使用(利用率の向上)という面で、課題が若干残る 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的ホールが維持されるので、地域イベント等の実施が可能 利用に見合う施設規模とするため、貸室が減少 	<ul style="list-style-type: none"> 規模に制限はあるが、建物仕様をゼロベースから検討可能 多目的ホールを廃止するため、地域イベント等の会場を新たに検討する必要あり 利用に見合う施設規模とするため、貸室が減少
	・老人憩の家は風呂機能の設備改修が困難になるまで存続(農改センターが整備されるまでは、風呂機能が廃止されても、部屋の貸出を継続)		

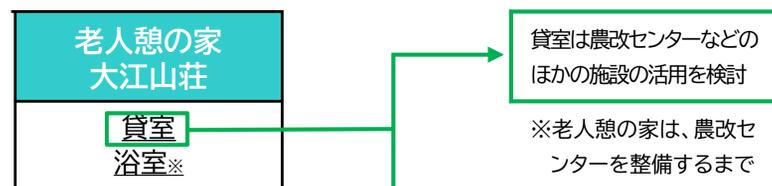
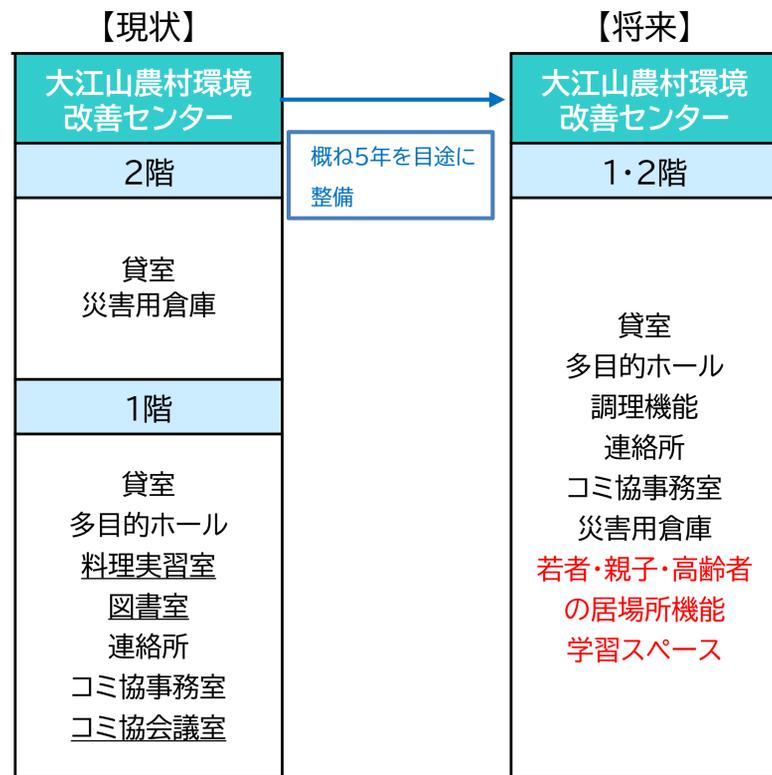
再配置案の現状と将来の機能イメージ

※これらの案は実現を担保するものではありません

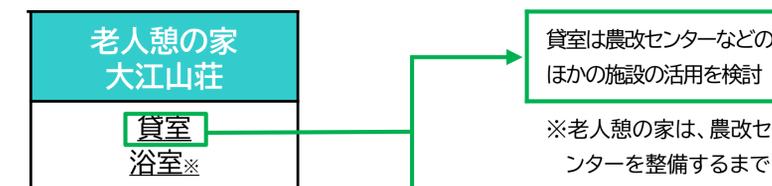
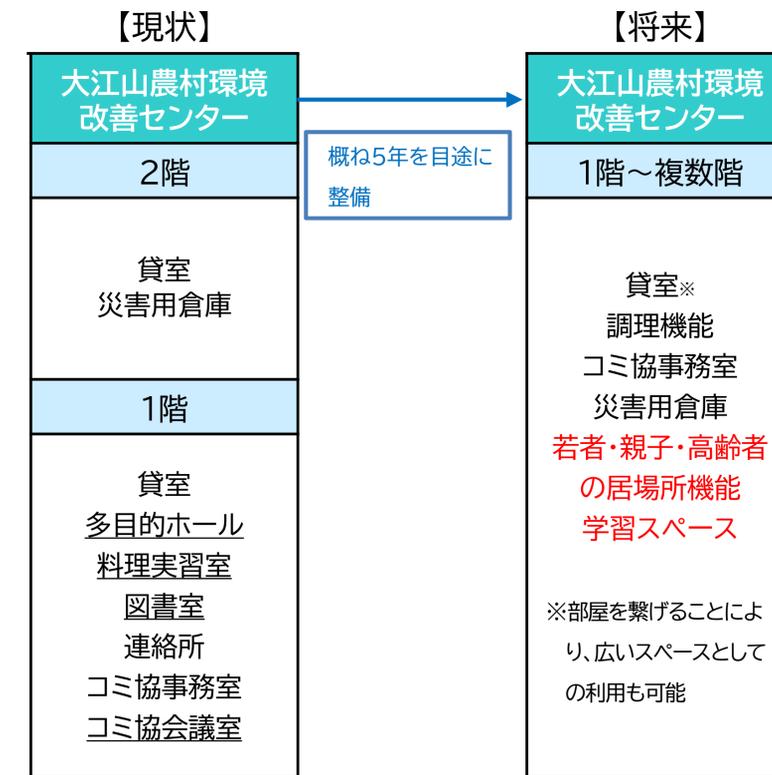
WS案 A



WS案 B

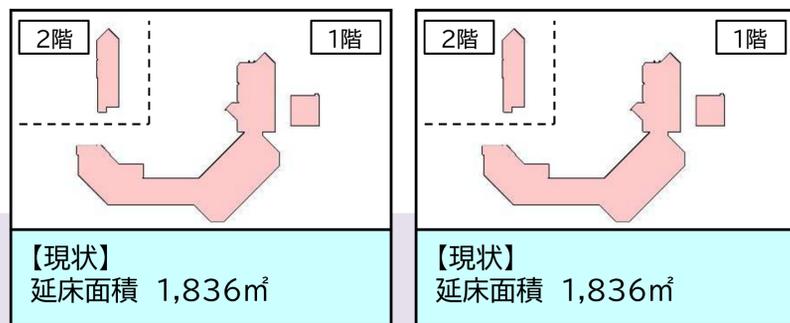


WS案 C

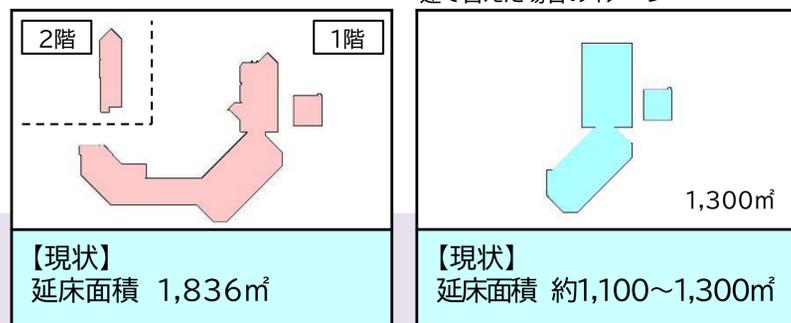


赤文字: 将来整備する機能
下線: 将来廃止する機能
緑枠: 他施設を活用する機能

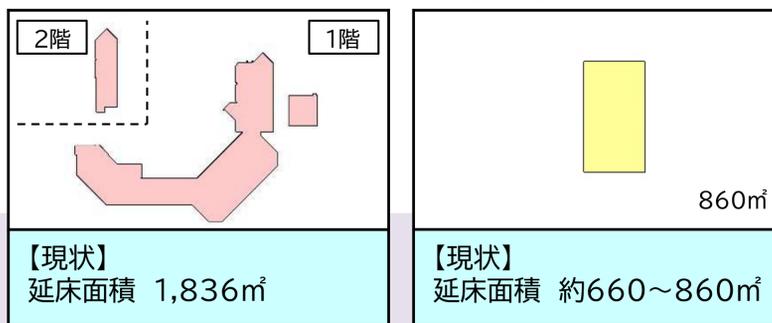
大江山農村環境改善センターの延床面積比較



多目的ホールを改修、それ以外を平屋で建て替えた場合のイメージ



平屋建てで建て替えた場合のイメージ



5.意見募集

地域みなさんも一緒に 考えてみませんか

ワークショップをはじめ、地域みなさんから寄せられたご意見を
ふまえ、再配置案を修正し、10月15日開催予定の第5回ワークショッ
プで検証を行います。

地域みなさんから寄せられたご意見をもとに、市で「大江山地域
実行計画」を策定していきますので、ぜひご意見をお寄せください！



はな の こまち
花野お町

みんなで考えよう！公共施設のこれから！



ささ だん ごろう
笹団五郎

ご意見・お問い合わせはこちらまで

大江山地域実行計画コミュニケーション事務局（江南区地域総務課・財務部財産活用課）

TEL 025-382-4619

郵便 〒950-0195 江南区役所地域総務課あて(住所不要)

FAX 025-381-7090

みなさんのご意見、
お聴かせください♪



江南区親善大使「**姫ちゃん**」
大江山地域名産の越後姫だよ♪

VOL. 01

公共施設が むかえている問題

今後も 新潟市の人口は 減っていく見込み

この先も少子・超高齢化などで人口が減ると、新潟市に入るお金「**税金**」が減ります。また、必要とされる施設も変わってくるかもしれません。

公共施設を今までどおり運営していくには、お金が足りなくなっていくそう。限られたお金で施設やサービスを維持していくにはどうすればいいのかな？



老朽化する施設が 増えていく

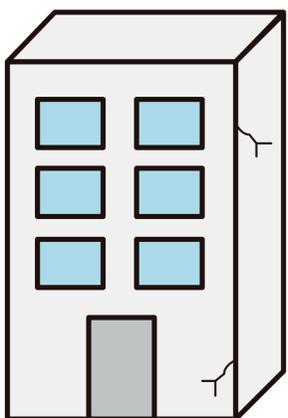
建物や設備は定期的にメンテナンスをしなければ壊れて使えなくなってしまう。新潟市でも次々と古くなる施設への対応が迫られていきます。

人口が増えて、公共施設が多くつくられた時代があったそうだよ。近い将来、その多くが改修や建て替えが必要になってくるんだね。全ての施設を改修するには、たくさんお金が必要になりそうだな。

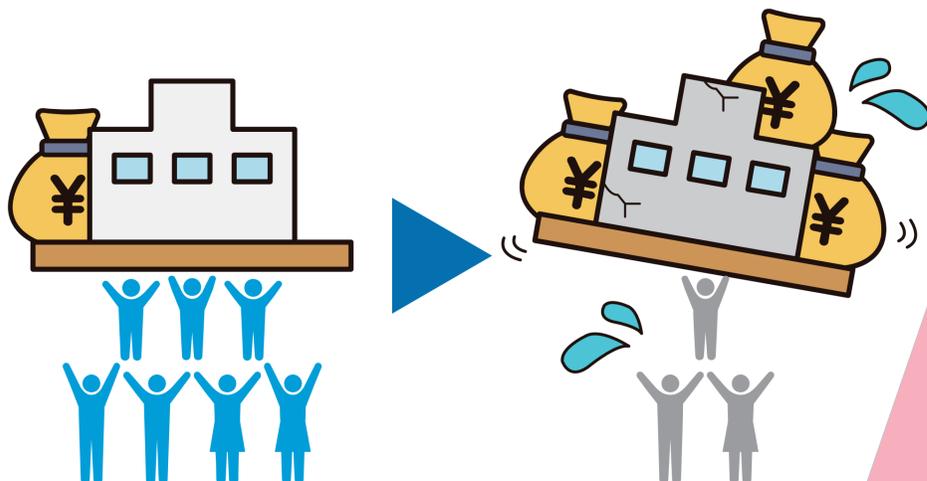


ここがポイント！

老朽化する施設が
たくさんある



現在の公共施設とサービスを
全て維持することが困難



- 施設を減らしたり、サービスをまとめたりして、効率的に使わないといけない
- 将来を考えて、施設を計画的に直したり建て替えながら、施設を使っていかなくてはならない
- 公共施設に求められるサービスの変化に対応しないといけない

VOL. 公共施設の あり方の 見直し

ここが
大事!



基本となる考え方

公共施設のあり方を見直すにあたって、基本的な方針を決めました。地域からサービス機能が全くなくならないようにしながらも、施設を減らしていくことを目指していきます。

(公共施設の総量削減とサービス機能の維持)

これまでの取り組み このような形で進めてきました

サービス機能をなくさないようにしながら、施設を減らしていくため、新潟市全体を中学校区ごとの地域に分けて見直しをしてきました。

地域の身近な公共施設について、地域のみなさんと地域ごとの事情をよく考えながら、丁寧に話し合っただけのいく形で身近な公共施設をどうしていくかを決めてきました。

人口減少等の課題は以前から予測できていたこと。これまでも対策を取ってきたんだよ!



OPEN

問題解決のため、
更なる
対策強化へ!

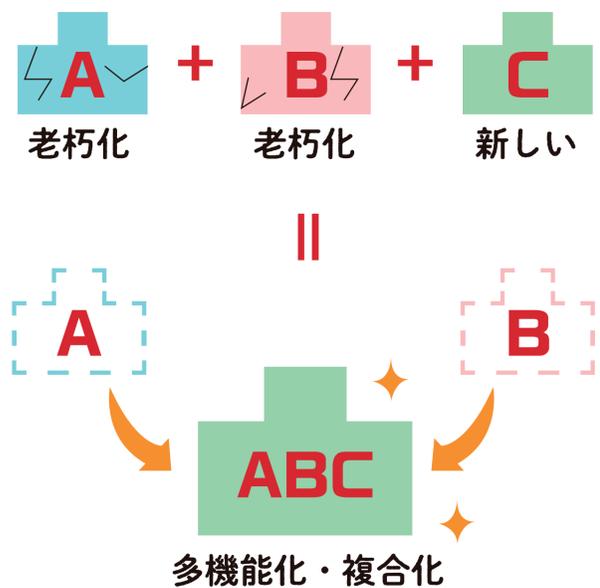
色々な方法で 施設を効率的に使います

- ①無駄をなくす工夫をして施設を使い続ける（継続・運用上の工夫）
- ②一つの施設で今よりも多くのサービスを利用できるようにする（多機能化・複合化）
- ③複数の施設を一つにまとめる（集約化）
- ④施設で利用できるサービスを、より必要とされるものに変える（用途転用）

施設の種類と地域内のバランスを踏まえ、それぞれの施設のあり方を考えます。

新たな機能を追加し
より便利に！

参考例
②多機能化・複合化



これから
どうやって
進めていく
のかな？

それぞれの施設、
地域にあった
方法を考えて
いくよ。

施設の種類
ごとに考えて
いきます

→
START

～公共施設再編の流れ～

詳しくはこちら！
新潟市 HP
財産経営推進の
取り組み



GOAL

効率的な公共施設の利用と
継続的なサービスの維持を実現

広範囲から利用者が
集まる施設の見直し案
と地域別の見直し案を
つくります

計画の実行

地域のみなさんと一緒に策定
した計画に沿って、公共施設
を再編していきます。

地域別に具体的な 見直し計画を つくります

地域のみなさんとの話し合いなどを通じて
一緒に地域別の見直し計画をつくります。

- 地域の施設のあり方を
みんなで考える
ワークショップを開催

- 中学校区を基本とした
地域ごとに計画を策定
- 広報紙の配布やウェブサイト
を使って、地域のみなさんに
情報提供 + 意見募集



地域のみなさんが考えたり、意見を言える環境
を整えて、みなさんと一緒に計画をつくります。
ぜひ、よりよいまちづくりを目指して一緒に考
えましょう。

